



デイリースポーツ杯 第42回 早池峰賞 (M2)

水沢競馬場 3歳以上オープン・ダート1400m

6月7日(日) 18:15発走

元祖・早池峰賞の創設は1975年。旧盛岡競馬場1100mを舞台に、スピード自慢のオープン馬が激突。年に一度の短距離特別は真夏の風物詩として定着し、多くのファンに支持されました。早池峰賞自体が重賞に格上げされたのは2000年から2006年。その後は特別で行われ2013年から再び重賞へ再格上げ。また2016年から「早池峰スーパープリント」へ移行し、盛岡ダート1000m、水沢850mで実施されていましたが、今年は11年ぶりに「早池峰賞」が復活。水沢1400mで行われるのは2006年(第32回)以来のことです。

【注目馬情報】

★ルコルセール 牡8歳 菅原勲きゅう舎・水沢

中央ダート5勝・オープンへ在籍。その後、南関東、高知へ転籍し5勝をマークして岩手入り。初戦の栗駒賞では他の追従を許さずに完勝。続くシアンモア記念は2連覇を狙ったヒロシクンをきっちり捕らえて優勝。一気に主役の座へ躍り出ました。今回は栗駒賞で勝負付けの済んだメンバー構成。重賞3連勝へ王手をかけました。

★スプラウティング セン7歳 酒井仁きゅう舎・水沢

昨年4月、中央3勝クラスから転入。いきなり重賞・栗駒賞を制しました。以降も着実に白星を積み重ねて4勝マーク。重賞・絆カップでも2着を確保しました。今季未勝利ですが、白嶺賞は頭差の僅差2着。栗駒賞は完敗3着でしたが、水沢1400mがベストの条件。打倒ルコルセールに燃えています。

★ウラヤ 牡7歳 畠山信一きゅう舎・水沢

中央ダート1400m3勝から一昨年7月に転入。これまで通算6勝をあげ、昨年は絆カップ2連覇を達成。最優秀短距離馬に選出されました。ベストはワンターンの盛岡短距離戦ですが、今季初戦の栗駒賞を2着にまとめたように水沢もこなせるタイプ。盛岡戦をスキップし、早池峰賞へ照準をピタリと合わせました。

★ブラックストーム 牡8歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

南関東時代は大井1200m～1400mをメインに活躍。9勝をマークしてオープンを張りました。高知、名古屋移籍後は2着が最高でしたが、岩手で心機一転。得意の右回り1400m戦で一発を狙います。

★タイセイウォリアー 牡6歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

中央ダート1700m1勝、ダート1800m1勝後、南関東へトレード。2着1回にとどまりましたが、岩手入り3戦目を快勝。インから強烈な末脚をさく裂させました。この勝利で弾みがついたのは確実です。

★スターシューター 牡8歳 櫻田浩樹きゅう舎・盛岡

南関東・大井を専門に使われて計13勝。昨年の白嶺賞で鮮やかなまくりを決め、重賞ウイナーの仲間入りを果たしました。追い込み脚質のため成績が安定しませんが、ツボにはまれば一気に突き抜けるシーンまで。

文／松尾 康司